



報 おおおじぬ

昭和44年12月15日 No. 202

編集と 鹿兒島県肝属郡大根占町役場
発行 企画室 企画係
(電話 大根占局 2-0511~0515)
印刷 逆瀬川印刷所 (電話 2-0140)

町の 昭和44年10月1日 現在推計人口
人口 男 5,246人 計 11,350人
女 6,104人
前月より 3人 増



(よくやった・ごころうさん、報告会で)

第十五回県下中学校駅伝競走大会で、またも宿利原中学校が四位に入賞しました。十一月十五日、どしゃぶりの雨のなかを国分中学校・富

限小学校(単人町)の折り返し七区間、二十二キロメートルのコースで、出場校二十九校の選手で争われました。午前十時、国分中前をいっ

せいにスタート、折り返し点では宿利原中も三区で中馬浩一君が区間賞をとる大活躍で万世(第三

位)、東郷(優勝)とほとんどいっしょに折り返しまし

たが、五区から東郷がリードしてそのまゝゴール

しました宿利原中も、その後を追って二位

争いに加わり、国分中の校庭に持ち込まれる

熱戦の末に、ついに力及ば

宿利原中学校

ことしも強かった

選挙が近づきました

ぜひこれだけは

知っておきたい

十一月号で、「衆議院議員

選挙がもし行なわれたとき、選挙人名簿に登録されていなければ、投票ができない」とことをお知らせしましたが、今回は登録資格の基準日と投票の仕方について、概略必要な事項だけを掲載します。

投票は、個人に与えられたたいせつな権利ですから、よく読んで一人でも投票もれがないように、しかも無効投票を一票でも少くしたいものです。特に部落長や官公署、事業所には別に文書は差し上げませんから、このことをよく認識されました関係者を御指



(喜びを語る校長先生)

ず、甲南、万世に次いで第四位に入賞しました。

新聞のレース評にもありましたように、宿利原中学校が小規模校でありながら昨年度星のように現われて三位に入賞し、ことしも引き続いて四位に入賞した実績は高く評価され、称賛的になっています。

このことも、選手みなさんのたゆまない努力はもとよりですが、先生がたの献身的な

導くください。

一、登録資格の基準日

前号で、選挙人名簿に登録されるには、住民基本台帳に登録されてから引き続き三か月以上経過していることが必要であることを記載しましたが、その期間の基準となる日すなわち、何日現在か、については「基準日は、選挙期日(投票日)が公示される日の前日」ということに県選管の内示に接しています。

また、名簿に登録される要件中、年令の資格(満20才)の現在日は、選挙の日であります。したがって投票日現在

で満20才になり、かつ、前段の基準日で三か月以上住所を有すると資格があります。

二、投票の方法

投票は、選挙の日みずから投票所に行つて、直接自書投入するのが原則であります。次の各号の制度が特に法定されて一人でも多く投票ができるようにされております。

(1) 点字投票
盲人で点字で投票する人は投票所の受付に申出て、点字投票用の用紙を受けて投票ができます。

(2) 代理投票
身体の不自由や文盲のために自分で字の書けない人は、受付で申し出があれば代理の者が書いてくれる制度です。

だれの氏名を書いたが判読できないで無効票になるのが毎回相当ありますので、「字」をはっきり書けない人は代理投票をして無効票を少なくすることを望みます。

(3) 不在者投票
仕事の都合ややむをえない事情で投票日に投票所に行つて投票ができない人のために次のような区分・手続きによって不在者投票の制度が認められています。

また、他の部落に住んでいる人の入場券がまちがって来たときは、捨てないで選管に返すか本人のいる部落へ回送してください。これは、部落長さんにくれぐれもよろしくお願いいたします。

ことしの成人式は、一月十五日前九時から大根占小学校体育館で行ないます。

成人式は、満20才に達した青年男女がおとなになったことを自覚し、自ら生き抜こうとする社会への巣立ちを祝い励ます式典です。当日は鹿兒島女子短期大学学長有馬純次先生の記念講演が予定されていますので、お正月に帰郷して成人の日まで滞在される新成人のかたがたもぜひ参加してください。

服装は、華美なものをさけて平服とし、特に女子の訪問着の着用はご遠慮願います。

なお、不在者投票ができる期間は、その選挙の期日が公示された日から選挙の日の前日までであります。(その制度については三ページへ)

(4) 住所移動者の投票
町外からの転入者で基準日まで三か月に満たない人は転入地の市町村では投票できませんが、前の住所地で選挙人名簿に登録されておれば前の住所地で投票できます。

ただし、市町村長や市町村議員の選挙では、この方法はできません。

町内の異動については、住民票の移動がされておれば三か月経過しなくても新しい投票区で投票ができます。

しかし、転居届をした人で選挙人名簿の移動がされていないことがあるかとも思いますが、万一そのようなことがありましたら申しわけありませんが入場券に書いてある投票所で投票してください。

また、他の部落に住んでいる人の入場券がまちがって来たときは、捨てないで選管に返すか本人のいる部落へ回送してください。これは、部落長さんにくれぐれもよろしくお願いいたします。

昭和四十四年を振り返って

役場の仕事から

昭和四十四年も余すところわずかなり、歳末の気分が町々にたたよってきました。日本人にとって、この十二月は一年のしめくくりと新しい年への準備を含めて、なんとなく忙しい月です。そこで、町の行政上から、ことし一年を振り返ってみますと、やっただけの実績が表れたもの、まだ不十分で将来に期待をかけるもの、いろいろな制約があつてあまり効果がなかったものなど、それぞれの評価が生まれてくるようです。

行政といえども企業であり投資に対する行政効果は大きいほどよく、そのためには過去を謙虚に反省して、将来の町勢発展に備えることも必要であると思われまふ。このような考えから、役場でことし一年に計画し、執行した主なことがらについて、今月号(十二月)から新年号にかけて、主管する課、または委員会ごとにその経過を連載いたしますので、みなさんがたのしめた励ましをお願いいたします。

※ 経済課

△ 水田の航空防除

第一回を五月に大根占水田百六十五ヘクタール、第二回は七月に大根占水田のほかに鳥浜・神川水田まで二百十ヘクタールについて、それぞれ実施しました。

いずれも、黄萎病や萎縮病の媒介源であるツマグロヨコバイの防除が主な目的で、九十八パーセント以上のよい防除結果になっていました。

そのほか、労力と経費が節減されて耕作農家からも喜ばれています。

△ 畜産品評会

四十四年一月現在の町内に飼育されている牛の頭数は、千九百頭でその後横ばいが続けていますが、価格の下落に伴って飼育の粗放化が見られ、このことが畜産品評会への出陳頭数の減となって表われ、校区別では、大根占34頭・神川13頭・池田34頭・宿原15

街路樹(イトヤシ、フェニックス)の植込み及び手入れ「神川の大流」案内板を建立「神川の大流」の近くに観光用便所を新築。

△ 町の振興大会

町の振興大会については、従来から改善の余地ありとして検討はされながら結論を得るに至らず、昨年末は農林業を主に、納税・道路愛護などを従として行なつてきたが、ことしからは総合的に再検討して、漁業・商業関係を含めるほか、町行政のまとめたとしての行事におきかえていきたいと思ひます。

△ 農村青年建設班

過疎対策と合わせて農業後継者を確保・育成する目的で昭和三十八年から開講、四十二年からは女子班を併設していますが、この修了生は、それぞれの地域でりっぱな農業後継者として、あるいは経営主、または主婦として家業に励んでいます。

ことしは、県の補助が打ち切られたこともあって、あるていど規模を縮小せざるを得なくなり、明けてから一二月に実施いたしますので、後継者多数の参加を期待します。

※ 建設第二課

△ 農道神川線の改良

神川中部落を起点とし、神川中原に至る総延長四、七四八メートルについて全線を改良、四十三年に起工し四十五年年度で完了する。

△ 農道池山線の改良

瀬戸山部落を起点とし、池山に至る総延長一、六四二メートルについて全線を改良、四十四年・四十六年度まで三か年で完了する。

△ 農道宿原線の改良
宿原部落を起点とし、笑喜に至る総延長一、〇六六メートルについて全線を改良、四十三年に起工し四十四年度に完了する。

△ 農道(農免)坂ノ上線の改良
大根占の畑作台地を縦断する幹線農道で、総延長五・八三六メートルについて中員を五、五メートルとして全線を改良、四十二年に起工して四十五年年度で完了する。

△ 大根占水田のほ場整備事業
昭和三十九年に始まった大根占水田のほ場整備事業が、ことし二十六ヘクタール、四十五年の十三ヘクタールで全部完了する。

△ 文化祭の成果が実る
第八回文化祭(図画・習字・作文・理科の作品展)を開催したが、年ごとに質の向上充実がうかがえる。特に作文・理科の作品は、郡展で特選計十六点、さらに県展において特選作文一点・理科二点・計三点で、県展では肝属郡下の特選が四点で、この中の三点が本町の作品であり、文化祭の成果が実りつつあることがうかがえる。

※ 教育委員会

△ 文化祭の成果が実る

第八回文化祭(図画・習字・作文・理科の作品展)を開催したが、年ごとに質の向上充実がうかがえる。特に作文・理科の作品は、郡展で特選計十六点、さらに県展において特選作文一点・理科二点・計三点で、県展では肝属郡下の特選が四点で、この中の三点が本町の作品であり、文化祭の成果が実りつつあることがうかがえる。

△ 学習研究社賞を受賞す
宿原小学校は準へき地小規模校であるが、環境整備と学習指導の成果を文部省並びに都道府県教育長協議会に認められ、第十四回学習研究社賞の受賞校となった。本県の小学校六百五十八校の中、四十四年度の受賞校は八校だけであった。四十一年にも大根占小学校が、理科教育の充実

により受賞している。

△ 学校緑化コンクールの優秀校となる

県の教育庁では、明治百年記念事業の一つとして県下学校緑化コンクールを実施したが、大根占中学校は優秀中学校三校の中の一枚として表彰を受けた。これも学校とPTAの緊密な協力が実を結んだ結果である。

△ NHK全国音楽コンクール県大会に出場

大根占小学校合唱団が出場した。地区予選で厳選された優秀校小学校の部十一校の中で、十校は全部都市校で占め郡部代表校は大根占小学校だけであった。当校の将来への成長を期待したい。

△ 県下中学校駅伝大会に四位となる
別に記事としたので省略する。

△ 県体育研究協力校の公開をした
大根占小学校は、四十三年度から県体育研究協力校になっているが、九月にこれまでの研究結果を器械運動における技能向上と体力づくりのテーマで県段階の公開を行ない、県下一の好評を博した。

△ 部落親子会の実績が実る
数年来、校区別部落親子会の育成公開を行ってきたがことしは宿原原校区に当り、町段階のものが郡に取り上げられ、さらに県の段階で十二月に公開の運びとなっている。部落の子も育成と部落民の融和信頼に貢献した力は大きい。

△ 中学校統合推進協議会の研究が進行しつつある
二十九人で設置され、こと

し数回の会合をもつて、統合のための基礎資料をもとに、いろいろな角度から研究を推進してきた。まだ統合の具体的な結論には到達していないが本町の教育向上のため中学校の望ましい姿を探究しつつあるので、全町民の御協力をお願いいたします。

※ 公民館

△ 総合社会教育の推進

校区分館活動を校区振興会組織の中で、地域課題と取り組ませた。特に神川校区では農休日(第三日曜日(家庭の日))に新設し、親子の話し合い、部落の話し合いの時間にあてるようになった。

△ 成人教育の振興

家庭教育学級、婦人学級、幼児学級を開設して、PTA会員研修会とかみ合わせて、家庭のしつけ・学習方法のあり方を身につけさせ、青少年の健全育成をはかった。

△ 青少年教育の充実

ことし、県の子ども会育成協議会が結成されたので、これを軸にして子ども会や青少年団体の育成を続けたい。

△ 視聴覚教育の推進

県の視聴覚連盟の教材で親子会・家庭教育学級・青年学級・幼児学級などで16ミリ映画会をしている。

△ 文化財保護と文化活動の促進

保護条例を中心に、文化財の手入れ・再調査・保護保存を検討中であるが、専門家が町誌編さんと重複するので、その任務が終了次第手をつけ

たい。その他、読書グループの育成と郷土芸能の保存につとめている。

△ 公民館施設の利用と指導体制の整備

町に会議用の施設が少ないため、年々利用は増加している。また、教育長兼任であった公民館長も専任をおいて体制を強化した。

△ 新生活運動の促進

重点努力目標
(1) 庭先清掃運動で、美しい町づくりにつとめよう
(2) 親切運動で、住みよい町づくりにつとめよう
(3) あいさつ先手運動で、あたたかい人間関係を作りましょう。

学校・公民館で、花いっぱい運動を展開した。成人式は平服参加で、年始めも部落ぐるみで、徹底したい。

△ 町民体力づくりの推進

四十七年度国体をひかえ、スポーツの振興・体力づくりをめざして学校・社会体育とも徐々に気運を盛り上げていくが、町民体育大会や町民協会のうちを終了した。あわせて婦人を中心とした栄養改善の講座・講習会などグループ活動を通して、体力づくり健康づくりに寄与している。

訂正のおわび

前月号の広報で、三ページ国民年金に関する記事で「とあるのは、十年めを、の誤りにつき、おわびして訂正します。」

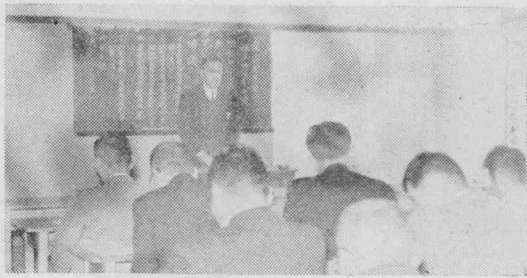
農業の振興について合同協議

今後もし引き続いて

- 最も困難な情勢下にある農業問題について、本町は本町なりに何らかの方向を見出すために、関係の事務にたずさわる者が集って討議する機会を作ろうということで、十一月五日に始めての会合をもちました。今後を重ねて討議を深めることにより、結論づけたいと思います。
- 1、参会者
町議会経済委員、農業委員、根占農業改良普及所、技連会、町長ほか関係職員
- 2、議題
(1) 町農政の方向について
(2) 他区別の振興策について
(3) 地区別適作と土地利用
(4) 生産物と流通について

大根占町の発展

農業の近代化と貯蓄



(結集を呼びかける坂元町長)

大根占町では、いま町をあげて農業資金の結集運動に取り組んでいます。

地域の発展には、あらゆる制度資金が利用されていますが、この原資(基)になる金は自分たちで用意しなければなりません。農業の発展は、町の発展につながっています。

町民こそ、貯金を農協へ結集いたしましょう。

◎貯蓄目標 三億七千万円

◎振興定期 五千万円

◎期間 いずれも11月25日から12月31日まで

◎特典 振興定期は、年利5分6厘+奨励金7厘

- ◎社会教育的な点もあり、農業者の意識の改善と進展する農政に対するムードの醸成がたいせつ。
- (2)(3)(4)の議題について
- ◎葉たばこ面積は確保できるか。
- ◎養蚕(桑園)面積の確保に努力してほしい。
- ◎畜産(和牛)の多頭化は可能か。適正規模は?
- ◎国有林の利用は可能か。
- ◎拡大する作目と対策
- ◎経営内容の再点検を慎重に
- ◎各部門別研修会を開き、細部の指導がほしい。
- ◎中核指導者の育成に努める必要がある。
- (5)の議題について
- ◎農協青年部を作りたい(農協から)
- ◎グループを中心に連携をとって育てる。
- ◎親子の経営についての話し合い(親の態度による(対話のできる家庭))
- (6)の議題について
- ◎農道の整備を急いでほしい
- ◎土地確保に対する考え方(国・県とも関連)
- ◎零細経営面積の規模拡大へのつながりを考えよ。
- ◎畑地の水利利用は十分研究してほしい。
- (7)の議題について(その他)
- ◎経営の投入資金の援助を考えてほしい。
- そのほか多くの意見が出されたが、問題の焦点をつくらず議論と対策は出なかった。いささか抽象的になり結論は得られなかったが、貴重な意見が交換された。
- ただ、もっと地区的振興対策などに対する意見を出してはしなかったが、さらに次回において一歩前進した話し合いをすることが申し合わせられた。

ボックス公衆電話開通

錦江園横に

大根占電報電話局では、町民や関係機関の強い要望もあって、便利なボックス公衆電話を十月二十三日から開通させました。

この公衆電話は、市内電話は二十四時間いつでも十円玉でかけられます。

市外電話は、一回に十円玉が十枚まではいい、二十四時間中全国のダイヤル直通区域へつながります。

みんなの公衆電話です。みんなでたいせつに使いましょ。

みたまよ

やすらかに

戦没者と殉職者の合同慰霊祭が、十一月二十六日午後一時三十分から慰霊塔前で行なわれました。

この慰霊祭は、遠くは日清日露の戦役から大東亜戦争にいたる間、従軍して戦死または戦死をたずね、さらには戦時平時を問わず公務に殉職されたかたがたの「みたま」をお慰めするため、毎年町と社会福祉協議会の共催で行なっているもので、なくなられた肉親と年一回でもお会いしようと、たくさんのかたがたが早くから会場に詰めかけられ、神式と仏式で盛大に執行されました。



(合掌する大西助役)

(二ページからの続き)

不在者投票区分と必要な証明書		不在者投票がでる選挙管理委員会	
1、町外で職務・業務に従事する者(勤務先の証明書)	住所地の選管へ直接または郵便で請求	住所地の選管または勤務地の市町村の選管	
2、町内で自分の投票区以外の投票区で選挙に関する職務を行なう者(その選管の証明書)	住所地の選管へ直接または郵便で請求	住所地の選管	
3、やむを得ない用務または事故のため町外に旅行中あるいは滞在中の者(医師または滞在中である地の市町村長の証明)	住所地の選管へ直接請求または郵便で請求	住所地の選管、または滞在中の市町村の選管	
4、病氣や老衰などで歩行困難の者、または監獄・少年院婦人補導院などに収容中の者(医師または助産婦、老人ホームなどの長および施設の長の証明)	住所地の選管へ直接請求、または郵便をもって請求(上記施設の長がまとめて請求ができる)	住所地の選管または県が指定している病院、老人ホーム、施設など	
5、県議会議員の選挙区外からの転入・転出などで住所要件(三か月)が欠格のため、前の住所地で選挙資格のある者(現住地の市町村長の証明書)	前の住所地の選管へ直接、または郵便で請求	前住所地の選管、または現住所地の選管	

日本を一周中の青年

役場を訪問

日本一周中の青年が十一月十七日、ひょうこり役場を訪問しました。

北海道上川郡比布町出身の阿部清志さん(20才)で、人生の修業と若いうちに見聞を広めたいとの冒険心も手伝って、北海道を一周して東北・山陰道を南下し、九州に入り大隅地方を旅行中に十月二十二日佐多町で交通事故に合い町内の長浜医院で入治加療中のところ、このほど全快して

出発にあたり訪れたものです。このあと、アルバートをしながら沖縄に渡り、帰りは四国を経由して東海道を北上し北海道には来年の九月ごろ帰る予定になっているようです。



年末年始の新生活運動

を推進しよう

※年末年始の実践項目

△元旦日は、家族本位の正月を
楽しみ、過去一年の反省と新
しい年の計画を家族といっし
よに話し合ひましょう。
△年始会は、部落主催で行
い、新しい年の部落づくり・
人づくりを話し合ひましょう
△七草祝いは、必ず部落及び
婦人会などの主催で行ない、
服装は学童服にいたしまし
う。

年末年始は

犯罪が多くなります

十二月一日から一月八日ま
で、年末年始の防犯推進期間
となっています。

町の防犯組合では、重点目
標を次のとおり定めて推進し
ています。みなさんの御協力
をお願いします。
△火災予防を徹底させる。

小型船舶(漁船)の操縦は

免許を取ってから

漁船といえども、免許なし
では操縦できなくなります。

近く次の要領で講習があつ
て、そのあとで免許試験が行
なれますので、該当者は全
員受験してください。

1、対象者

二十トン未満の船を操縦し
ているもの(乗組員を含む)
及び四十五年度に二十トン未
満の船を所有する見込みのも
の

- 2、申し込み期限
昭和四十五年一月十日まで
- 3、申し込み場所
役場経済課水産係
- 4、付記
受験希望者は、昭和四十五
年四月に十日間の講習があつ
て、その後 垂水市か鹿児島
で試験が行なわれる予定です
詳しくは、役場経済課水産
係にお尋ねください。

毎年、年末年始になると
交通事故が多発する傾向に
あります。町の交通安全町
民会議では、この期間中に
おける交通事故防止の徹底
特に飲酒運転追放・歩行者
の安全確保を目標に掲げて
強力に推進しています。歩
行者のみならず、運転者の
みなさん、交通安全はあな
たのためのものです。町民
こそつての御協力をお願い
いたします。

◇推進期間

昭和44年12月1日から
昭和45年1月31日まで

国鉄からの

お知らせ

1、指定券は、電話一本でと
れます。

特急・寝台などの指定券は
七日前から発売しますが、古
江駅では電話一本でその前か
ら予約します。

2、新幹線御利用の割引き
在来線から新幹線に乗り継
ぎすると、在来線の特急・急
行料金は五割引となります。

3、遠距離の往復割引
片道が一・〇二キロメート
ル以上……帰りは一割五分引

〃……………二割五分引
〃……………三割五分引
通用期間は一月間

4、団体旅行の手引

(1)団体旅行が十五人以上とな
ります。

(2)団体運賃は一割五分引(多 客期は一割引)です。

(3)観光バス・宿泊・食事など
の手配もします。

これらの御連絡は
古江駅(電話古江四番)へ

ようこそ

椿 麻美さん

本町出身の歌手でローヤル
レコードの椿麻美さん(本名
橋口倫子さん)が十一月十四
日、ひよこり役場を訪れ、
坂元町長や職員から激励のこ
とばを受けながら「久しぶり
に帰りましたが、やはり故郷
はいいものだ」となつかしげ
に話していました

MBC第二会館完成記念の
放送出演のため帰郷されたの
です。

椿さんの本籍は枕崎市です
が、お母さんの里である大根
占で幼少のころから小学校、
中学校に在学したこともあつ
て、親族や友だちもたくさん
います。

椿さんは「みなさんの声援で
なんと一人前の歌手になれ
ましたが、今後もなおいっそ
う勉強してまいりますからど
うぞよろしく」と謙虚に申さ
れてお帰りになりました。



三師会納税組合(代表者長
浜三三則氏)では、このほど
次の各団体に御寄付くださ
いました。それぞれの御厚志
をありがたくお受けして感謝
されています。

△ボーイスカウト育成補助と
して

△宿利原中学校の県下駅伝大
会参加にあたり

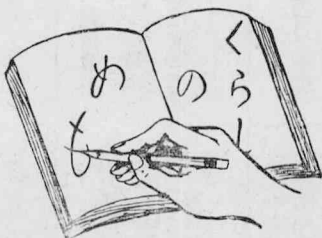
△歳末助け合い募金 二万円

注、三師会は、町内の医師、
歯科医師、薬剤師十二人で構
成されています。

戸籍に関する情報は ホームページ上では 掲載していません

こんにちは保健所です。
あなたの飼犬はつないであ
りますか？
登録、注射はすんでいますか？

最近、飼犬による被害の
増大に対し、飼犬の適正な
飼育管理が世論として強く要
請されていたので、鹿児島県
では従来の飼犬取締条例を改
正し、44年11月1日から施行
されております



- 1、飼犬は常
時つないでお
くこと
- 2、飼犬のフ
ンの処理など
けい留場所
清潔にしてお
くこと
- 3、飼犬を捨てないこと
- 4、(犬)の標示を門戸その他の
見やすいところにつけるこ
と

- (5)、かまれた人の住所・氏名
年令、名前
 - (6)、過去に人をかんだことの
有無
 - (7)、狂犬病予防法による登録
及び予防注射の有無
- 犬はつないで飼いましょう。